

# Minolta

## AUTOCORD-III

使用説明書



## お買上げありがとうございます

ミノルタカメラは わが国最古のカメラ界専門メーカーとして 常に国産カメラの発展に貢献してまいりました。特に二眼レフは当社が開拓したといっても過言でなく 多年にわたる改良を加えて完成されたのが現在のオートコードⅢ型です。堅牢なボデー 優れたレンズによって国内は勿論海外でも高く評価され 今や世界の代表的二眼レフトとして 広くご愛用いただいています

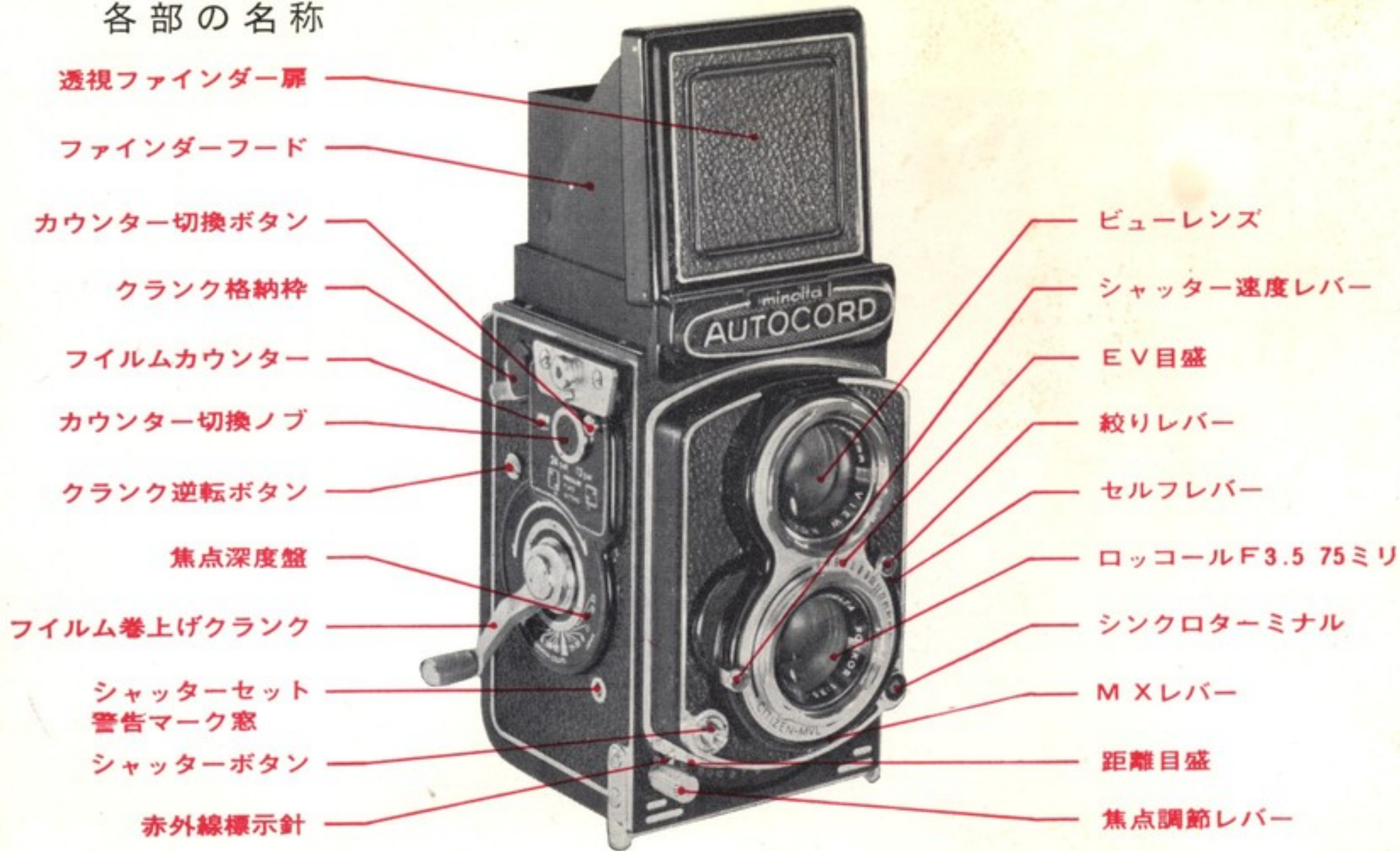


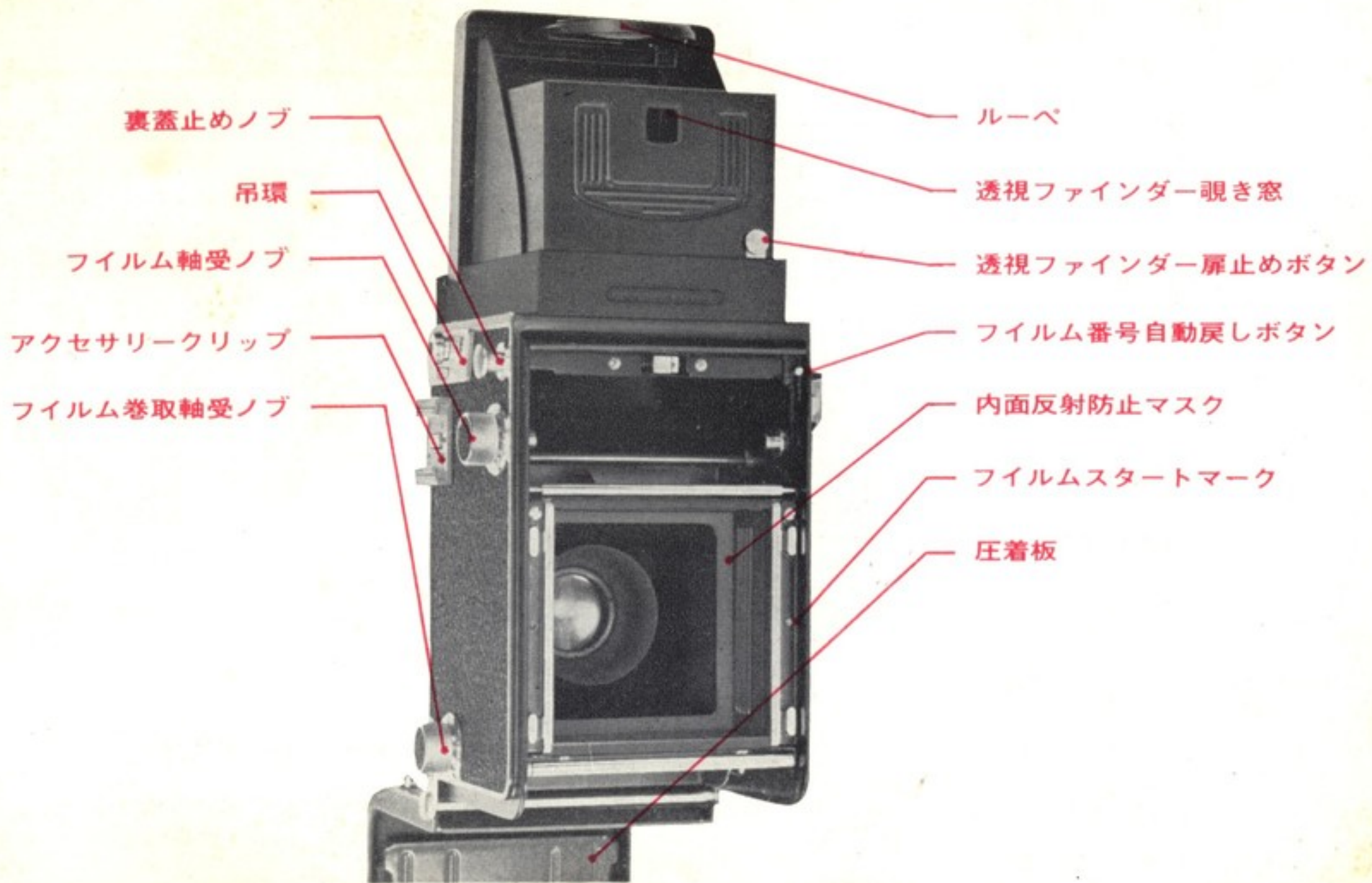
# もくじ

各部の名称	3	フィルムの取出し方	22
主な性能	5	簡易露出とEV値について	23
ネックストラップの取りつけ方	6	カメラの構え方	27
撮影される前に	7	シャッターボタン の安全装置とタイム露出	29
カメラの扱い方		セルフタイマー	31
1. ファインダー	8	フラッシュ撮影	33
2. ピント合わせ	9	焦点深度について	35
3. 透視ファインダーとするには	10	a 焦点深度盤	36
4. シャッター速度と絞り	11	b 焦点深度表	37
5. シャッター速度と絞りの関係	13	赤外撮影のとき	38
6. 撮影	14	多重撮影について	39
フィルムに入れ方	17	オートコード用アクセサリ	41
撮影が終わったとき	21	品質保証・サービスステーション	49



# 各部の名称





裏蓋止めノブ

吊環

フィルム軸受ノブ

アクセサリクリップ

フィルム巻取軸受ノブ

ルーペ

透視ファインダー覗き窓

透視ファインダー扉止めボタン

フィルム番号自動戻しボタン

内面反射防止マスク

フィルムスタートマーク

圧着板



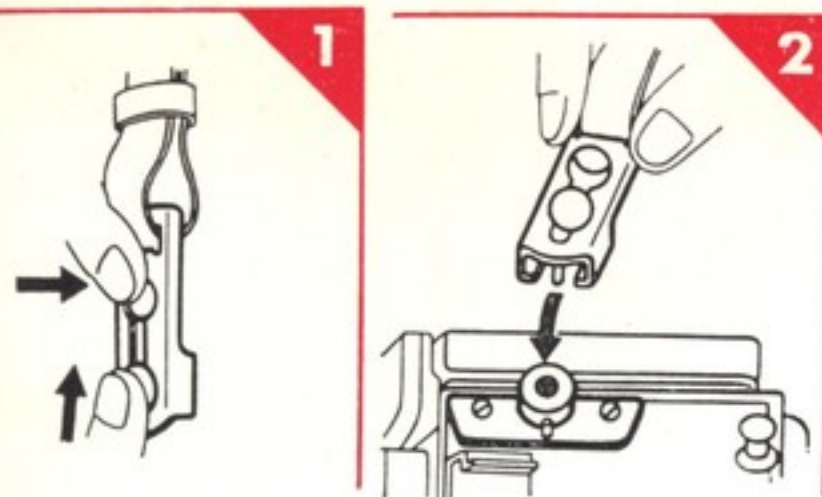
## オートコードの主な性能

形 式	■ J 120 コダック 220 フィルム (ロールフィルム) 使用の二眼レフカメラ
サ イ ズ	■ 60×60 mm
レ ン ズ	■ ロッコール F3.5 75ミリ 3群4枚 テッサータイプ 画角55°
シャッター	■ シチズン MVL B1~ $\frac{1}{500}$ セルフ内蔵
シクロクロ接点	■ M.X 接点
焦点調節	■ 直進ヘリコイド 繰出し形式
フィルム巻上げ	■ クランク式
ファインダー	■ マット面ピント調節方式 (フレネルレンズ使用)
カウンタ	■ 順算式ゼロリターン
裏 蓋	■ 蝶番式開閉オートロック
そ の 他	■ 二重露出可能 シャッターチャージ警告装置 シャッターボタン安全装置
アクセサリ	■ フード 28.5ミリ バヨネット フィルター 28.5ミリ バヨネット クローズアップレンズ No. 1 No. 2 バヨネット バラジャスター パノ라마ヘッド オートポール (偏光フィルター)
大きさ・重量	■ 143×96×100 mm 995 g

## ネックストラップの取り付け方

このカメラにはネックストラップが付属しています。カメラに取付けるには図のように……

取り付けかた

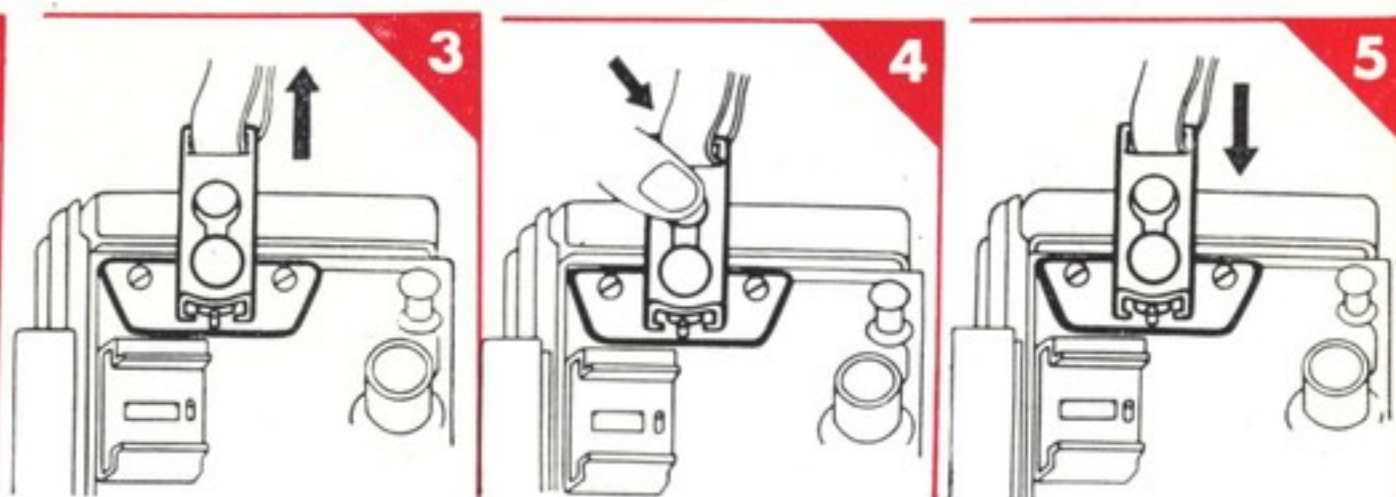


取り付けかた

① ストラップ取付金具のボタンを丸い穴の方に引き

② カメラ吊環部の丸穴にストラップボタン凸部をカッチリ合わせ

取りはずしかた



取りはずしかた

④ 吊環部の丸穴を中央に指で少し押し

⑤ 上から下方向に押下げると自動的に外れます

## 撮影される前に

オートコードⅢ型は従来の J 120 フィルム (プロニーフイルム) で 6 × 6 cm 12 枚撮り及びコダック 220 フィルムで 6 × 6 cm 24 枚撮りとなっています

撮影される前に ご使用のフィルムによって P-15, 16 のフィルム使用前の操作準備をよくごらん下さい

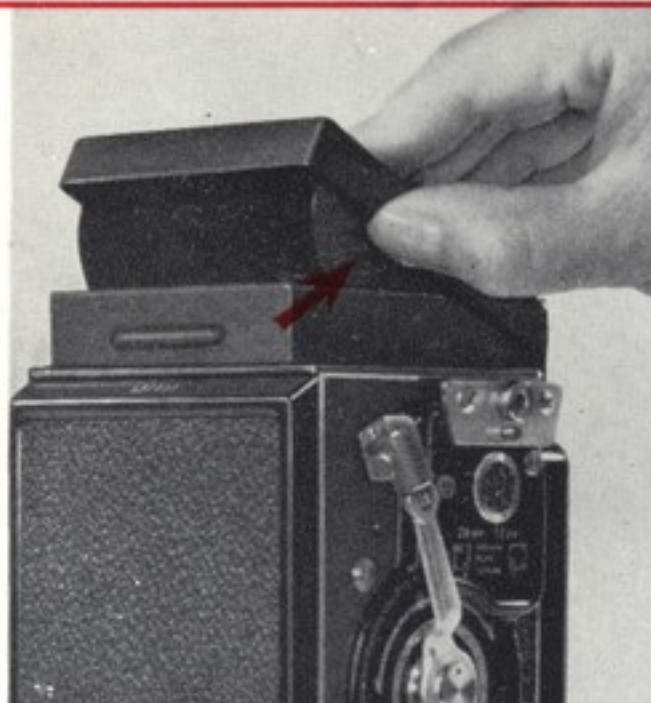
カメラの扱い方



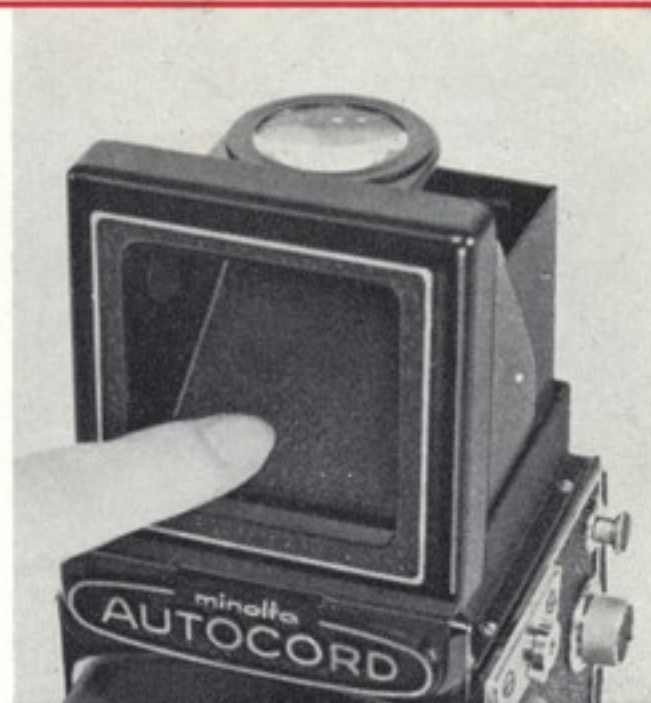
## 1. ファインダー



1. レンズキャップの下部を押しあげ気味にもち上げ右に回してキャップを外します

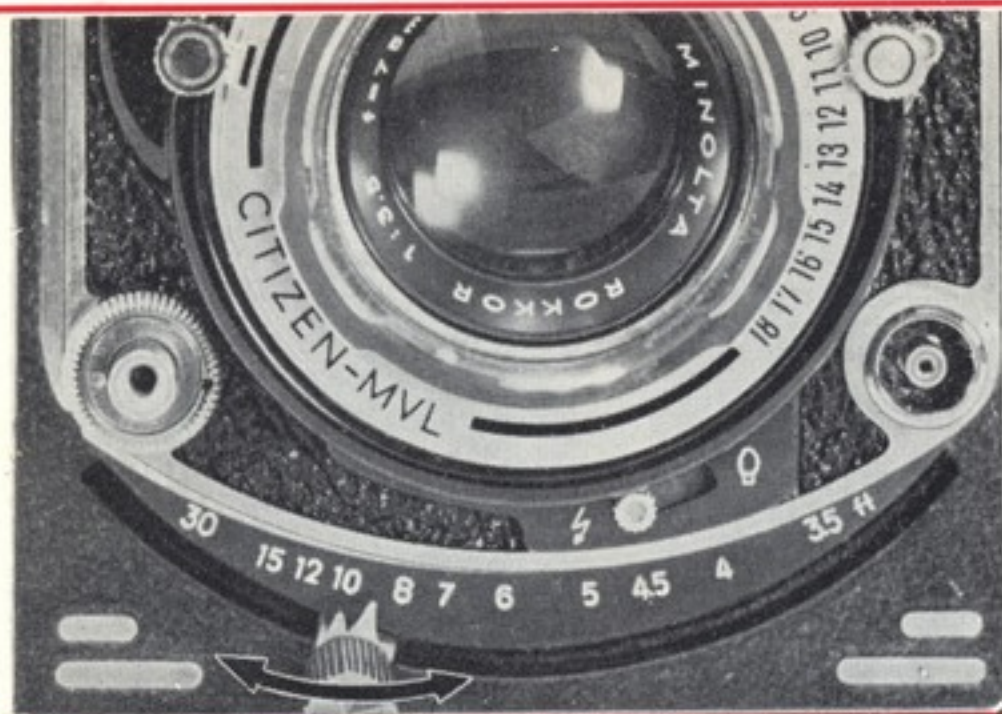


2. ファインダーフードを写真のように軽く持ち上げると開きます



3. 透視ファインダー扉の外部を少し押しすとルーペが飛び上がります

## 2. ピント合わせ



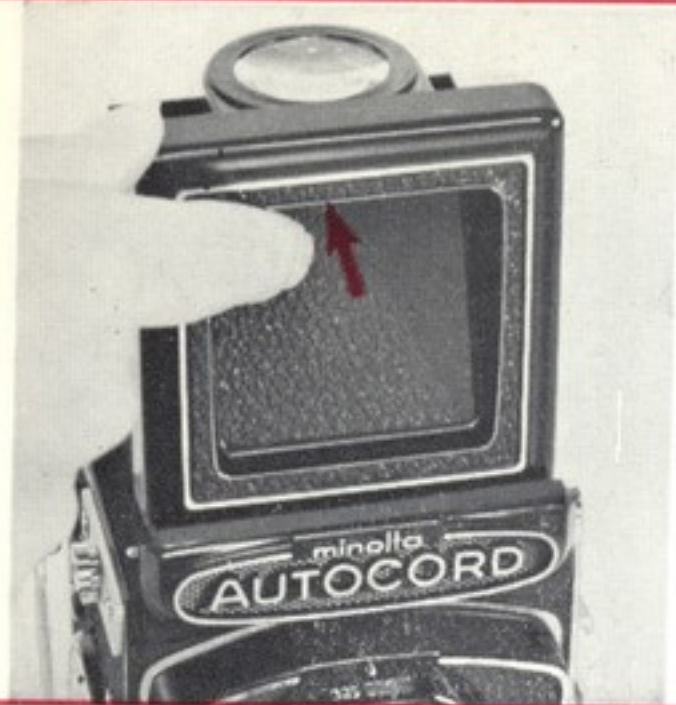
4. 焦点調節レバーを動かすとレンズ部が前後に進みます。ピントグラス上の像がハッキリ見える時 フィルム面に正しい焦点が結ばれています。ルーペを起こして一層精密に焦点を合わせて下さい。



ピントグラス上の構図線は印画紙の縦横の比率をもって描かれています。印画になる場合を考えて横位置の場合には上下線の範囲 縦位置の場合には縦線の範囲内で作画して下さい。

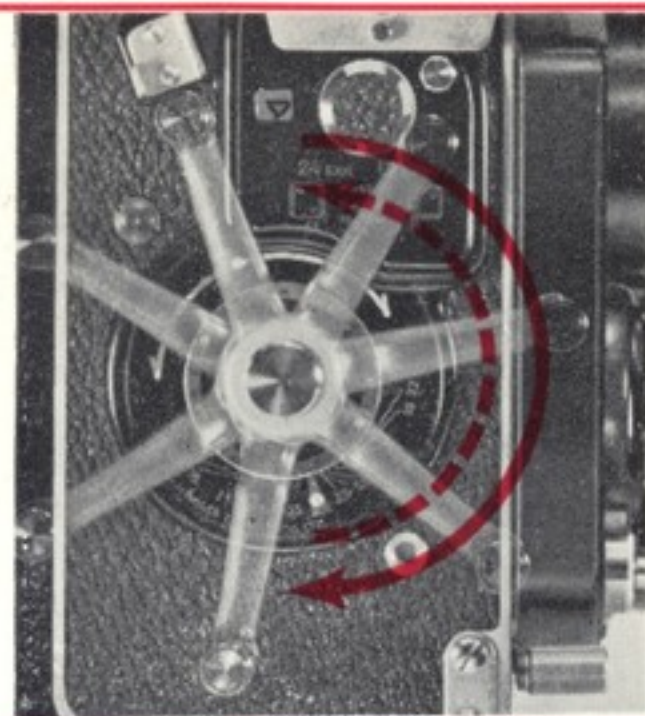
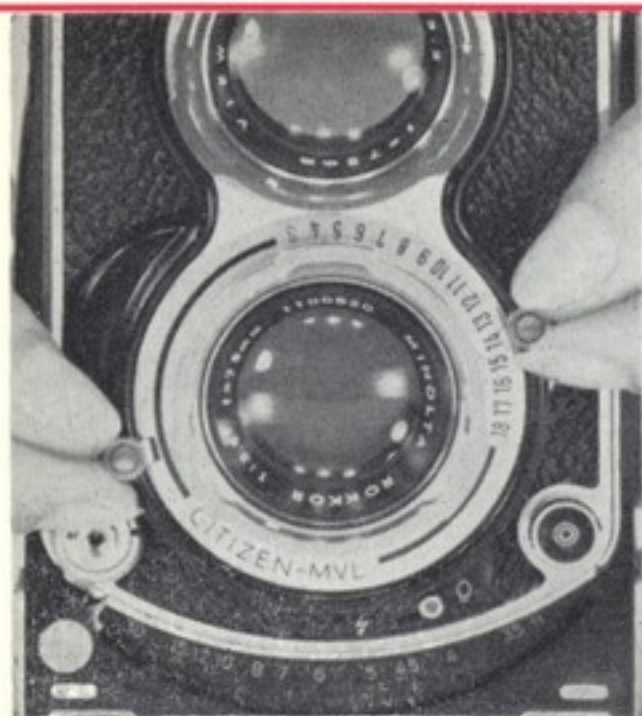


### 3. 透視ファインダーとするには



1. 透視ファインダー扉をな  
お押続けると下方に倒れてカ  
チリと正まり 透視ファイン  
ダーとなります。覗き窓より  
見える前枠の範囲内の被写体  
がフィルムに写ります
2. 透視ファインダーは胸高撮  
影位置から眼高撮影にする  
ときや トッサのスナップ等の  
撮影に用います
3. 透視ファインダー覗き窓の  
右下にあるボタンは透視ファ  
インダーの扉止めボタンです  
このボタンを押すと透視ファ  
インダー扉が外れます

#### 4. シャッター速度と絞り



1. シャッター速度レバーを上下に動かすとビューレンズの上にあるシャッター速度窓に B 1, 2, 4, 8, 15, 30, 60, 125, 250, 500 が現われます

\* Bはいわゆるバルブ露出のことで シャッターボタンを押している間シャッターの羽根が開いています。1, 2, 4, ... 500 は 1秒 $\frac{1}{2}$ 秒 $\frac{1}{4}$ 秒... $\frac{1}{500}$ 秒のシャッター速度を示します

2. 巻上げクランクを止まる  
ところまで（フィルムが入  
っていない時は止まりませ  
ん）回転して格納枠に戻し  
シャッターボタンを押すと  
合わせてある速度でシャッ  
ターが切れます。シャッタ  
ー速度はフィルムを巻上げ  
てから調節しても差支えあ  
りません












3. 絞りレバーを上下に動かすとビューレンズの上にある絞り窓に 3.5, 4, 5.6 8, 11, 16, 22, の絞り目盛が示されます



- ★ この時絞りレバーは使用時のEV値を指示しますから EVによって露出を決めるときご利用下さい (EV値についてはP-25を参照)

## 5. シャッター速度と絞りの関係

絞り	3.5	4	5.6	8	11	16	22
							
光量	1.3	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{32}$

絞り目盛 3.5, 4, 5.6, 8, 11, 16, 22, とあるのはレンズの明さを示したものです。この数字は絞りを通してフィルムに達する光の量を上のような割合に配列したものです

かりに絞りを f 4 にして  $\frac{1}{250}$  秒のシャッターを切っても f 5.6 で  $\frac{1}{125}$  秒で切ってもフィルムに達する光量は同じです

なお絞りの役目は上のようなレンズを通る光量調節以外に焦点深度の調節という役目もします（焦点深度については P-35 参照）



## 6. 撮 影

ファインダーで被写体にピントを合わせ 構図が決まると絞りと。シャッター速度を調節して露出を決めます

一般に露出は露出計で測定されるのが好ましいのですが 白黒フィルムするとき次の露出表を利用して結構です

露出を決めるとき 絞り値は後述の深度と関係がありますから 被写体の条件によって適当な絞り値を選びます (例えば集合人物は f 8, f 11 に絞るなど)

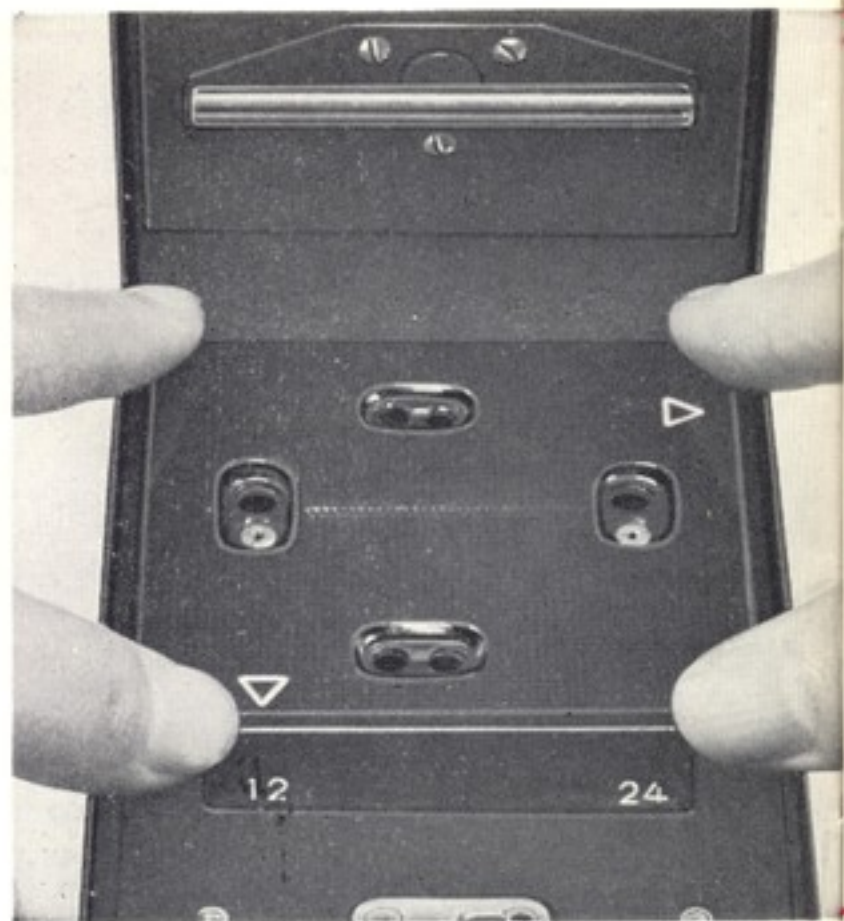


## フィルムを入れる前の準備

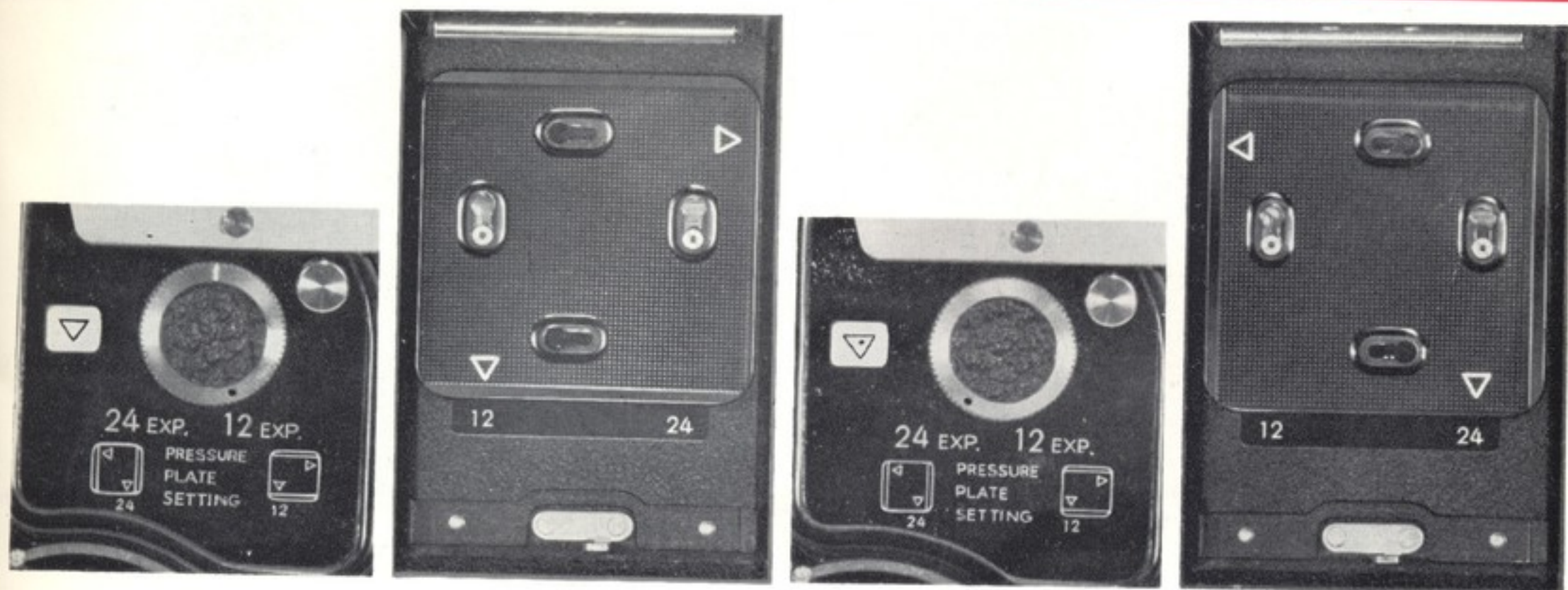
フィルムを入れる前 J120（従来のプロニーフィルム）を用いるか コダックの220判フィルムを用いるかによって圧着板を変更します

## 圧着板の外し方

圧着板の上下の端に指をあて 下方に押しながらバヨネット穴の大きい方にずらすと 圧着板が外れます







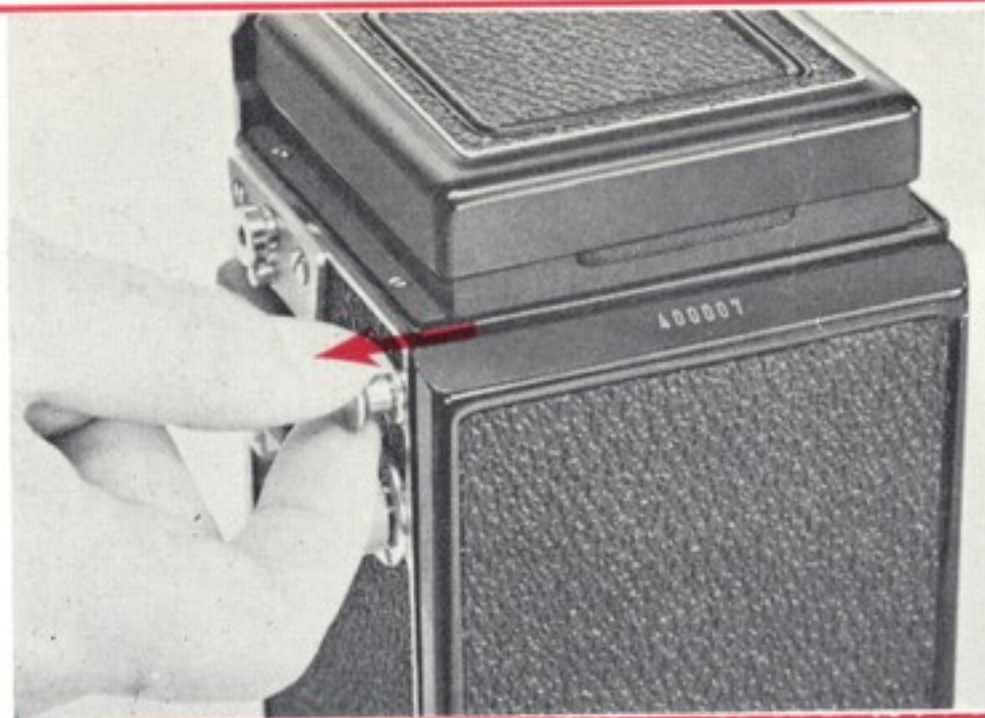
・120判フィルムを使うとき (120判フィルム12枚撮り)

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. カウンター切換ボタンを押してカウンター切換ノブの指標を12に合わせます</p> | <p>2. 圧着板のマークが12を指すようバヨネット穴を合わせて取付けます</p> |
|---|---|

・220判フィルムを使うとき (220判フィルム24枚撮り)

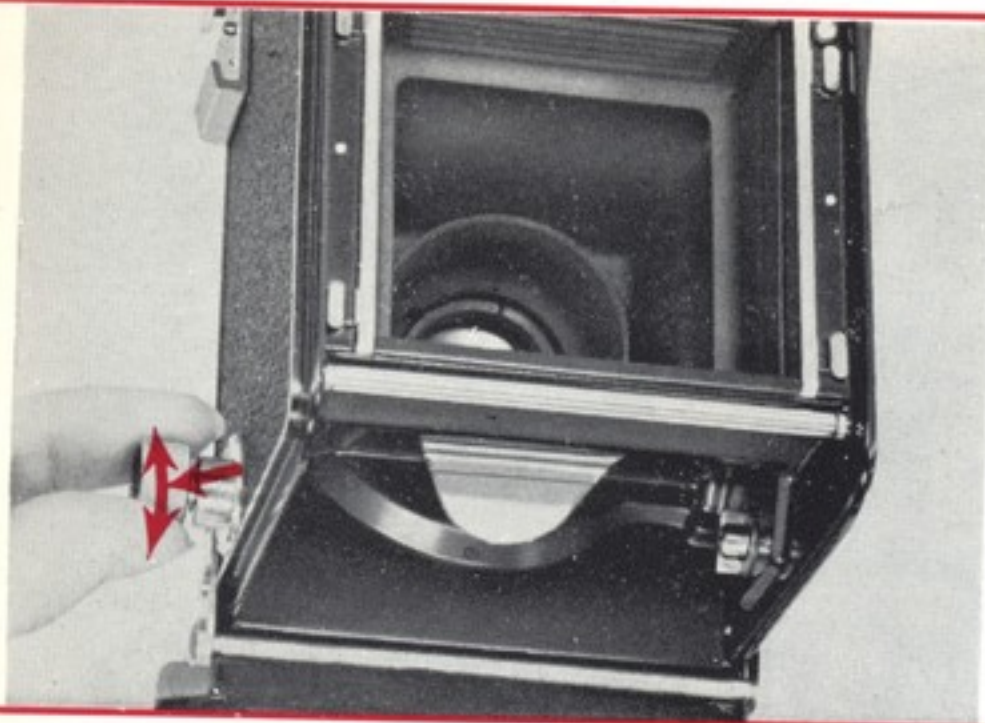
- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| <p>1. カウンター切換ボタンを押してカウンター切換ノブの指標を24の方に合わせます</p> | <p>2. 圧着板のマークが24を指すよう合わせて取付けます</p> |
|---|------------------------------------|

## フィルムに入れ方

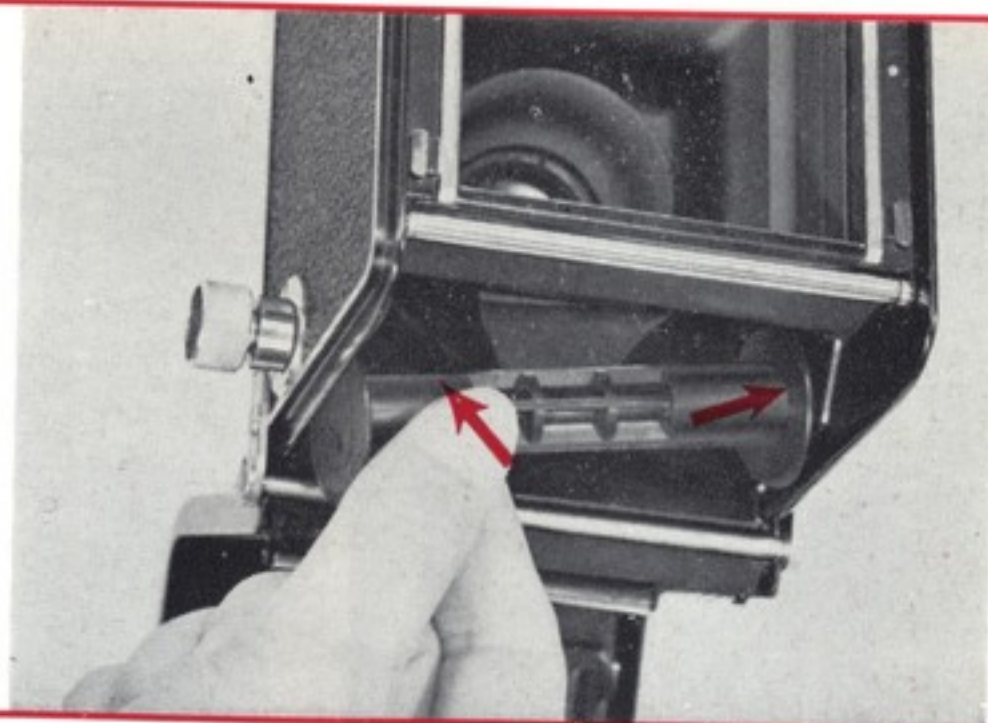


1. 裏蓋止めノブを引くと裏蓋が開きます  
(120判フィルムと220判フィルムの入れ方  
はどちらも同じです)





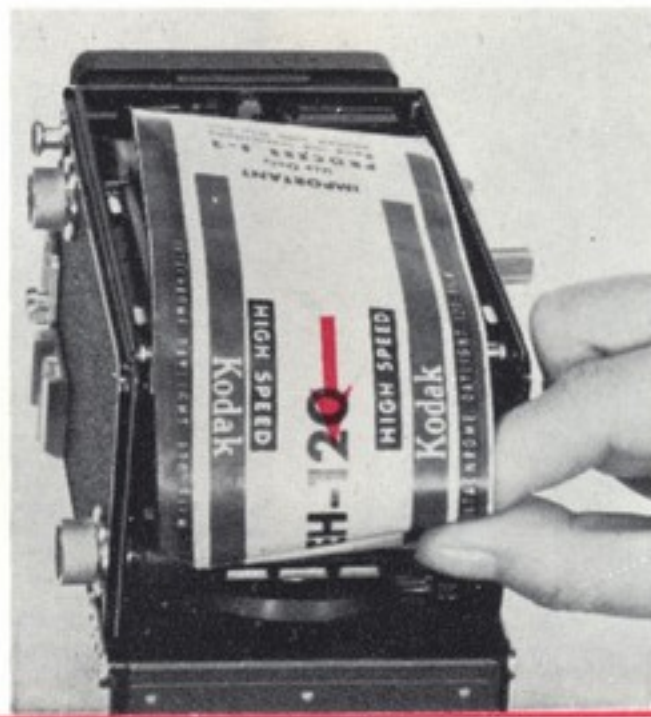
2. フィルムを入れる前フィルム巻取軸の反対側にあるフィルム巻取軸受ノブを引出し 少しまわすとノブが出た状態で止まります



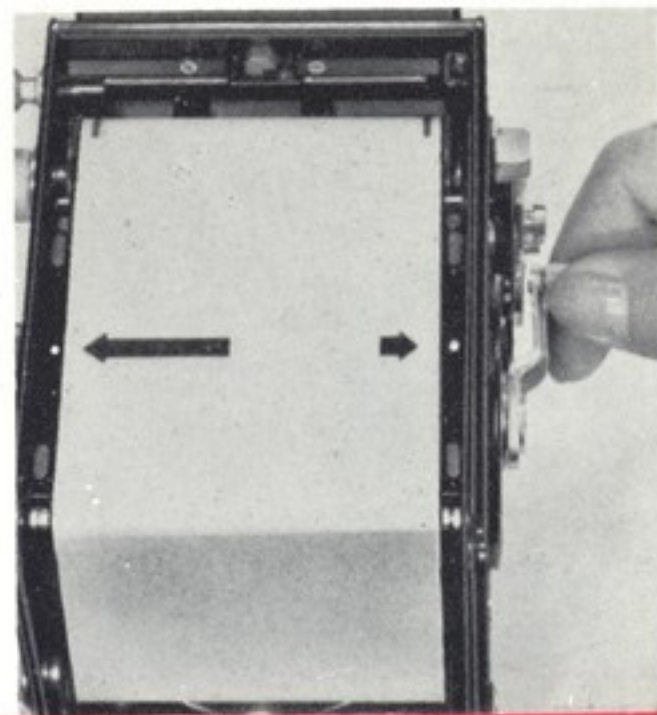
3. フィルム巻取軸（空スプール）を下部フィルム室の右側回転軸にかませ左側スプール軸はフィルム巻取軸受ノブをもとに戻して保持します



4. フィルムを上部フィルム室に入れます。左のフィルム軸受ノブを引出し 右側のスプール軸受側をやや押気味に入れて左側の軸受をもどし フィルム軸受をフィルムスプール軸にかませます

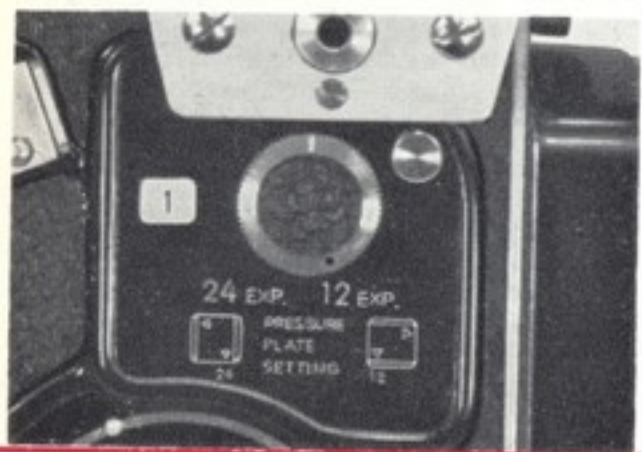
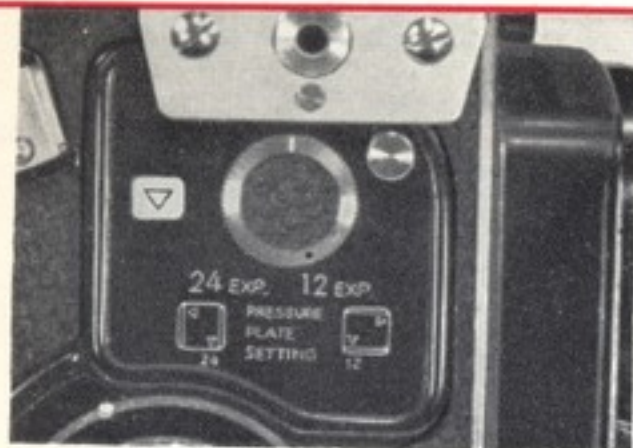


5. フィルムのリードペーパーの端を引出して空スプールの長い方の溝に差込みます



6. フィルム巻上げクランクを巻いて行くとリードペーパーの両端に矢印が出ます。この矢印をボデーのフィルムレールの両側中間のスタートマーク（赤い丸印）に合わせて裏蓋を閉めます

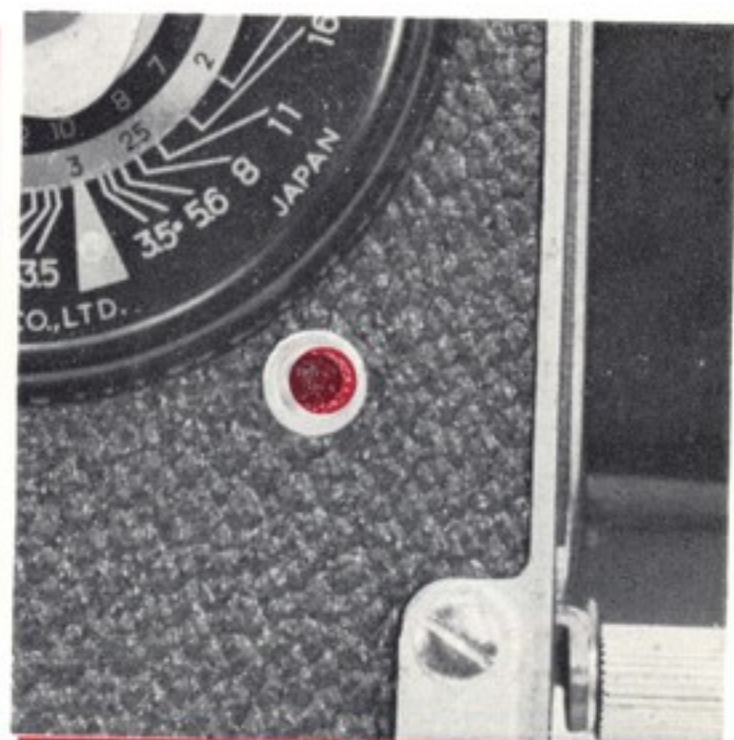




この操作を繰り返して撮影を終えると巻上げクランクは自由に回転しますから 何回も回してフィルムを全部スプールに巻取って下さい

そしてクランクを格納位置から約半回転させその位置から元の格納位置に止まるまで逆転してから裏蓋を開けます

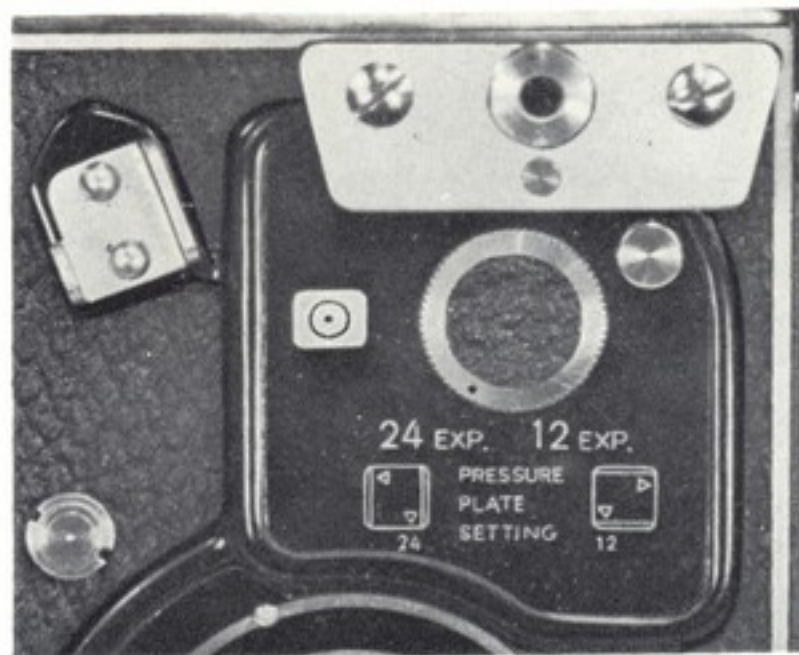
クランクを格納位置に逆転しないで開けるとカウンター窓に⊙印が戻りません



7. 裏蓋を閉めるとフィルムカウンター窓に⊙印が出ています。巻上げクランクを止まるまで巻くとフィルムカウンター窓に……①が出てシャッターがチャージされ巻上げクランクはこれ以上動かなくなります。次に巻上げクランクを格納枠にもどしてシャッターを切ります

- ★ 巻上げクランクを回してシャッターをセットした時 シャッターセット警告マーク窓に赤色マークが出てシャッターのチャージを示します。フィルムが入っていない場合 シャッターセット警告マーク窓に赤色マークが出ないのでフィルム装入の有無がわかります

## 撮影が終ったとき



### ・ 120判フィルムするとき (12枚撮)

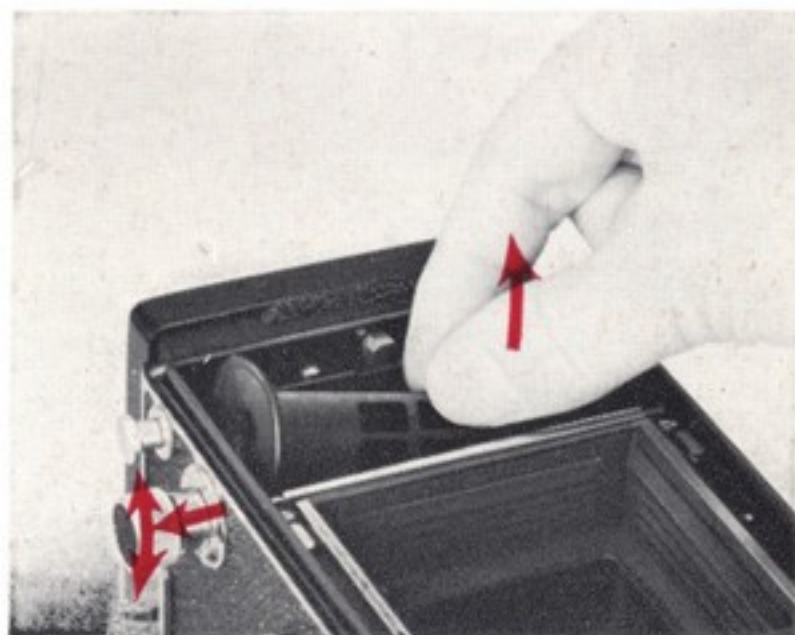
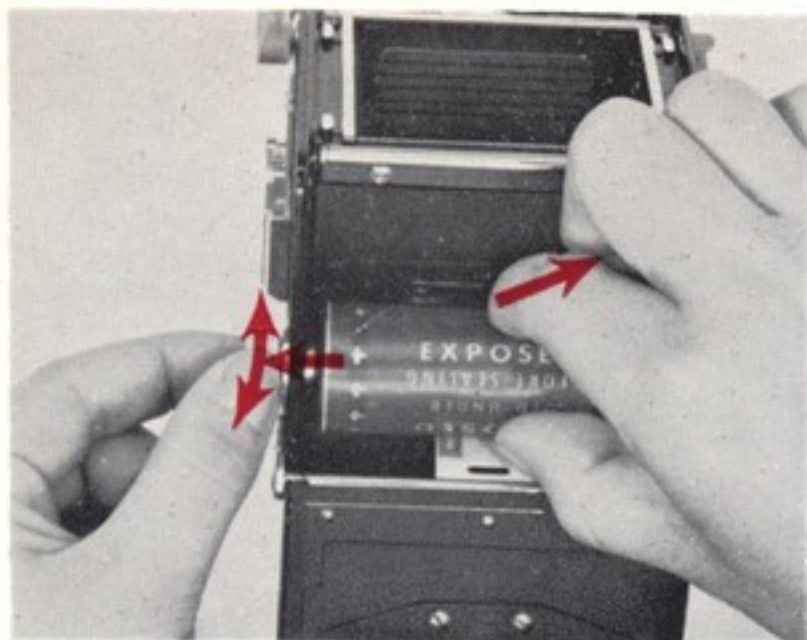
12枚撮影後 フィルムのリードペーパーがなくなるまでクランクを回すと フィルムカウンター窓に 15か16が出ます。リードペーパーがなくなると巻上げに抵抗感がなくなり フィルムカウンターが進まなくなります

### ・ 220判フィルムするとき (24枚撮)

24枚撮影後 フィルムのリードペーパーがなくなるまでクランクを回すと フィルムカウンターに◎マークが出ます。フィルムがなくなると抵抗感がなくなるのでわかります



## フィルムの取出し方



1. フィルムの巻取りが終わると 裏蓋止めノブを引出し 裏蓋を開けて  
フィルム巻取軸受けノブを引出し  
フィルムを取出します  
取出したフィルムはリードペーパーの先端を折曲げて封印します

2. フィルムを取出すと 上方のフィルム室に残った空スプールを 下のフィルム室に納めておくと次の撮影に便利です

注意 フィルムの取出しは日陰で行って下さい。特に220判フィルムの際はリードペーパーの部分が短かいので光が入らないよう注意して下さい。24枚撮影のとき12枚目と13枚目の間隔が機構上若干開きます

## 簡易露出表とEV値について

露出は大まかに云って 天候・季節・時間・光源からの距離 フィルム感度等によって決めねばなりません。最近の白黒フィルムは非常に性能がよく 露出のラチチュードが広がっているのです。通常の被写体なら次の簡易露出表を参考にして経験を働かせれば充分撮影できます。

しかし更に正確な露出を知るには 露出計の使用をおすすめします。カラーには特に必要です。

このカメラはEV付ですので VE付露出計を用いるとより便利です。



簡易露出表 (春秋) 快晴 F 8 フィルム感度 ASA 100

被写体	時間	6.6	7.5	8.4	9.3	10.2	$\frac{11}{12}-1$
ひらけた山・海		1/60	1/125	1/250	1/500		
ひらけた風景		1/60	1/125	1/250	1/500		
普通風景		1/8	1/30	1/60	1/125	1/250	1/250
明るい街路		1/8	1/30	1/60	1/125	1/250	1/250
近い風景		1/4	1/8	1/30	1/60	1/125	1/125
直射日光下人物		1/4	1/8	1/30	1/60	1/125	1/25
薄暗い風景 軒下人物		1	1/2	1/4	1/8	1/30	1/30
明るい室内 窓際人物		2	1	1/2	1/4	1/8	1/15

絞	3.5	4	5.6	8	11	16	22
割合	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	1	2	4	8

時間の欄 上が午前下が午後・露出時間は秒・明るい曇天の場合約2倍・冬は半絞り開き 夏は半絞り絞ります 他の絞りで写すとき上の比較表で調節します

## EV値について

EV値 絞り	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
F 2.8	1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500						
4		1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500					
5.6			1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500				
8				1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500			
11					1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500		
16						1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500	
22							1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500

EV値と言うのは カメラのシャッター速度と絞り値の組合わせを一つの数値で表わしたものです。このEV値と カメラのシャッター速度および絞り値の関係は上の表のようになります

上の表からわかるように EV値が一目盛変わるごとに明るさが2倍 または1/2倍変化し また一つのEV値に対して 絞りとシャッター速度の組合わせがいろいろできます

例えば EV12のとき f 5.6, 1/125 でも 絞りを f 8とすれば 1/60 というように 絞りとシャッター速度のいずれか一目盛動かせば 他も一目盛動かすことによって同じEV値が得られるようになっています。但しシャッター速度窓に 1/30以下の数字が出た場合 三脚を使用する等カメラブレにご注意下さい (図の赤い部分)







★ 一般の撮影では二眼レフは両手でしっかりカメラを固定し胸高位置で ファインダーの上からピントを合わせて写します

## カメラの構え方





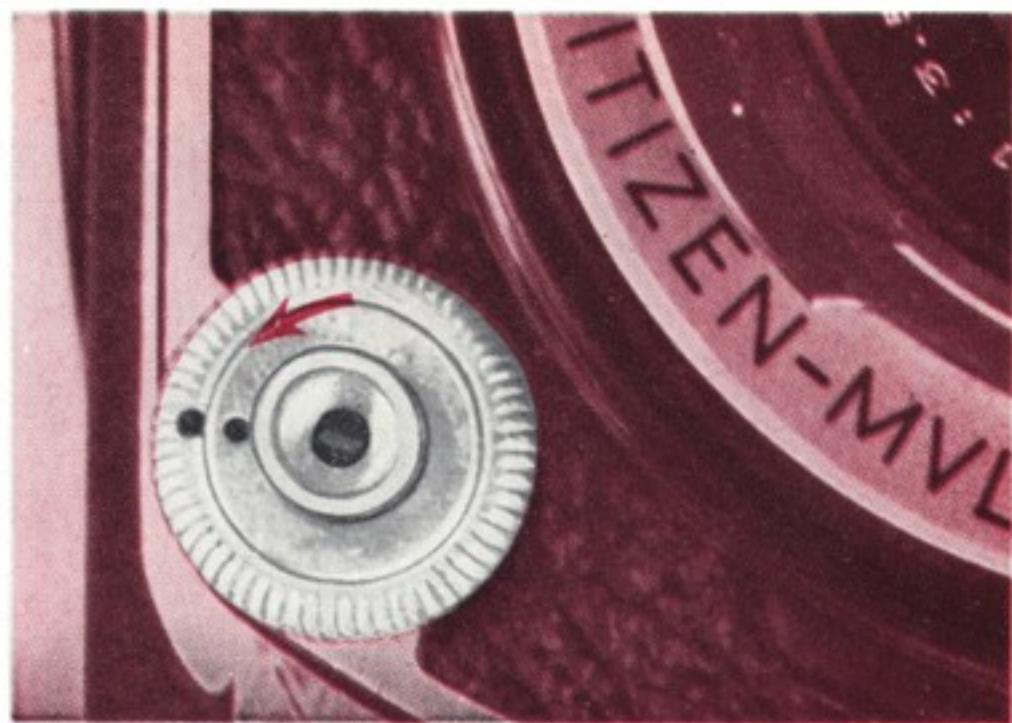
★ 急ぎのスナップ等ではあらかじめピントを目測で合わせておき透視ファインダー  
を利用します

★ その他作例のように色々の角度から相手に気づかれずに写す方法もあります



## シャッターボタンの安全装置とタイム露出

シャッターボタンの外輪を回して・印を内輪の・印に合わせておけば不用意にボタンを押してもシャッターは切れません。Bでシャッターボタンを押したまま外輪の・印と内輪の・印を合わすとT（タイム）露出になりボタンから指をはなしてもシャッターは閉じません。外すときはシャッターボタンの外輪を回して・印をずらせます

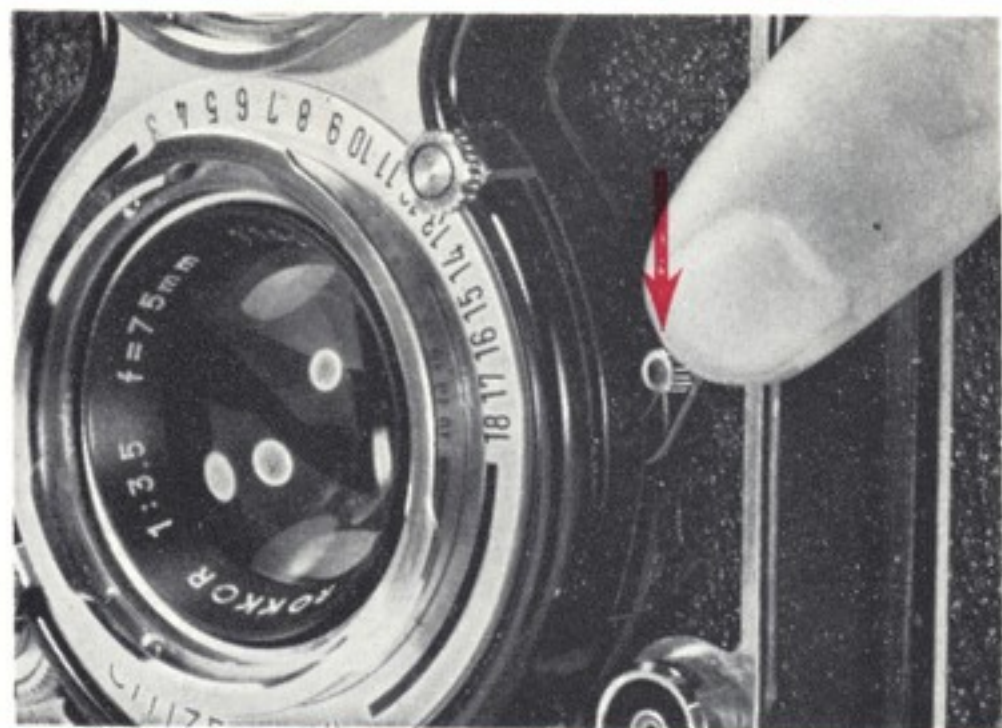






★タイム露出でシャッターボタンを押し安全装置をかけたままフィルム巻上げクランクを回すと故障を起こすことがありますから絶対にさけて下さい。タイム露出以外の場合でもシャッターボタンを押したままクランクを回したり、またケーブルリリースを押したままクランクを回すとやはり故障の原因となりますから注意して下さい。

## セルフタイマー



セルフタイマーを使う時は、セルフリバーを押下げてシャッターボタンを押すと、セルフタイマーが働きます。

このシャッターのセルフタイマーはセルフレバーを最後まで押下げなくてもレバーの止まった位置から作動しますから、作動時間を自由に調節することができます。



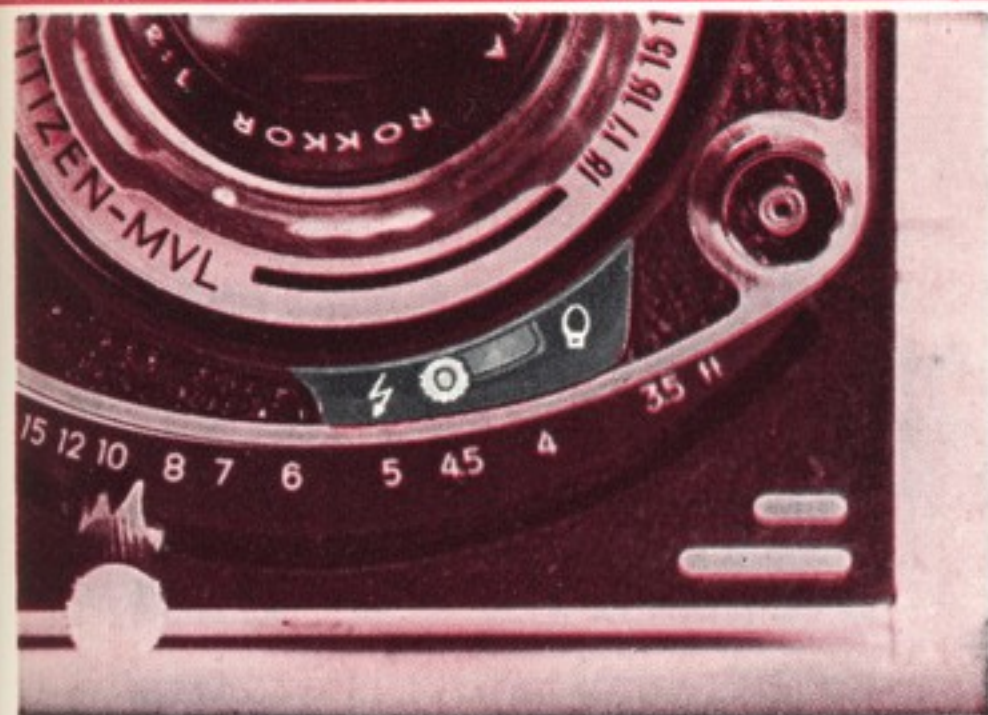




フラッシュ撮影







光量不足の処ではフラッシュ撮影をします  
この時 M. X レバーを切換えることにより  
スピードライト (ストロボ) の他M球を使用  
することができます

**X接点**：M. X レバーを **々**マークに合わせるとX接点となり スピードライト(ストロボ)の場合は全シャッター速度に同調します

**M接点**：M. X レバーを **Q** に合わせるとM接点となり M球使用の時 全速度に同調します

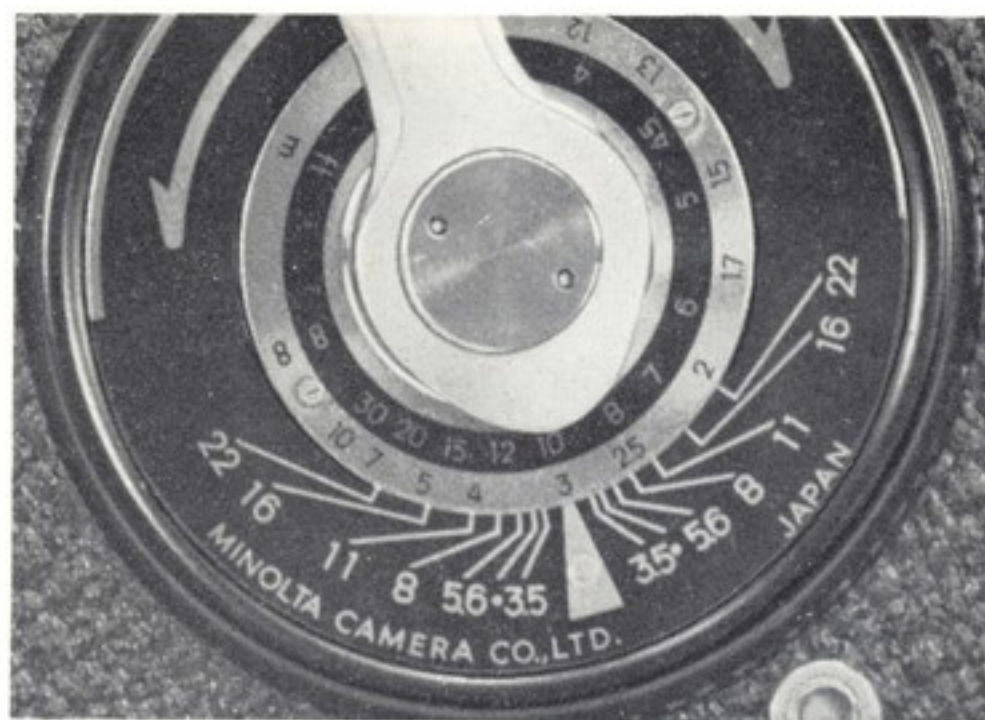
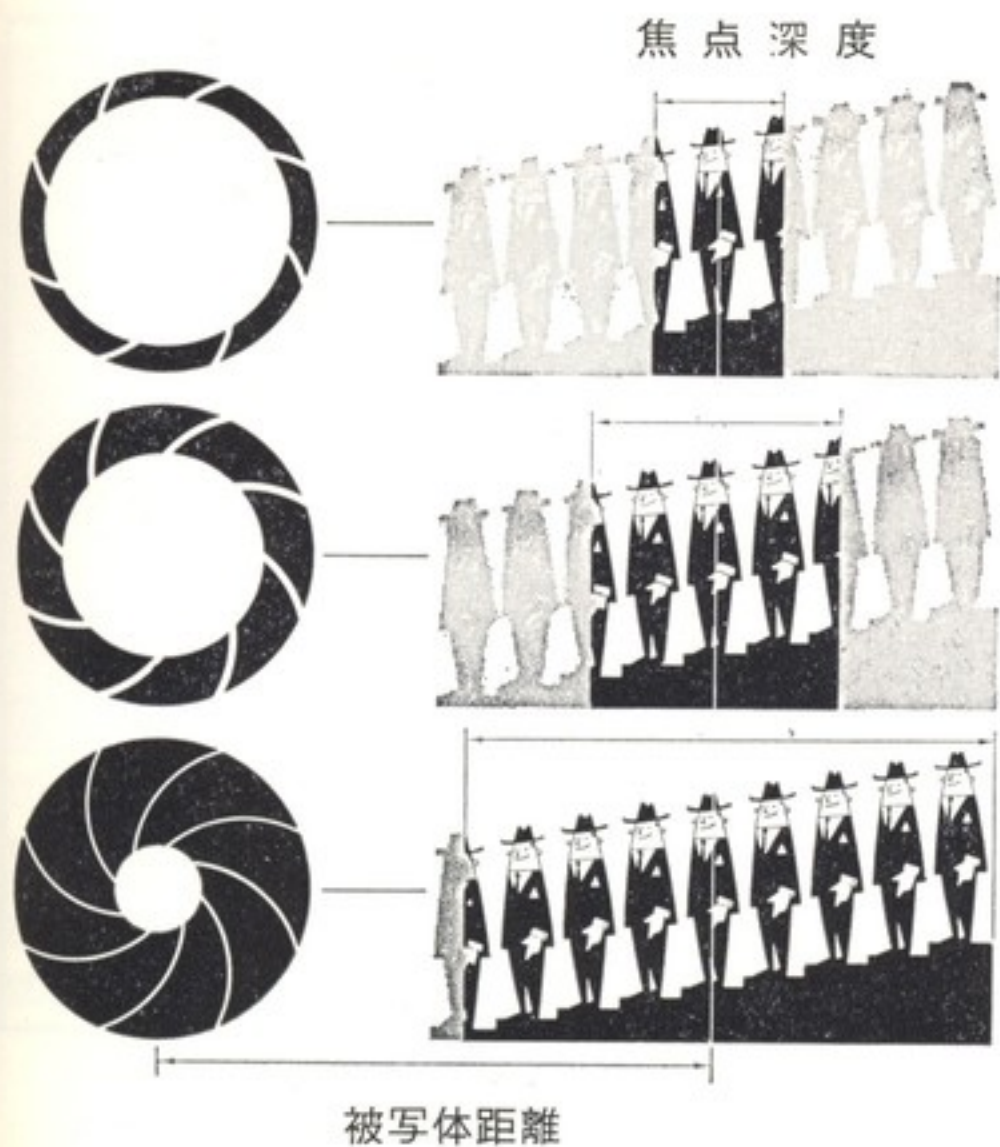
## 焦点深度について

焦点深度とは目的物に焦点を合わせた場合、その被写体の前後にもある程度焦点が合います。この焦点の合っている前後の深さを焦点深度と言います。

焦点深度は被写体の前よりも後の方に深くなる性質をもっています（P-37 参照）。又次の図の様に絞りを小さくすればする程焦点の合う範囲は広くなります。この場合露出時間を多くする必要があります。



## 焦点深度盤



フィルム巻上げクランクのまわりにある焦点深度盤は中央の▲印に被写体距離を合わせると撮影の時に大体の焦点深度を見ることが出来ます

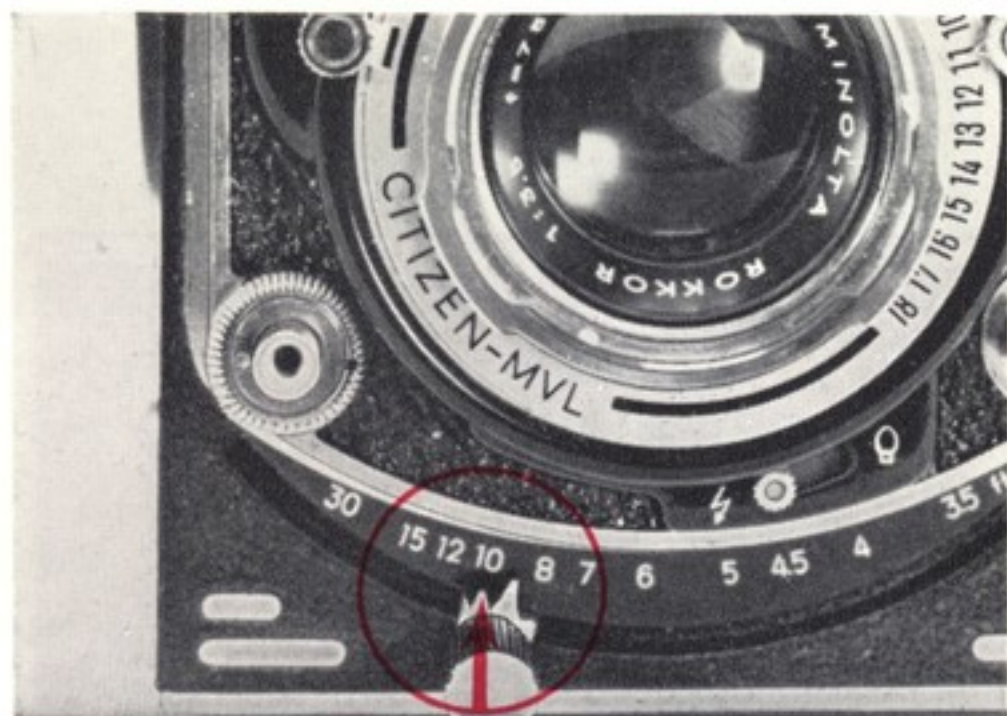
例えば 3 m の距離に被写体がある場合内側の文字盤を回して 3 を矢印に合わせると かりに絞りが f 8 なら両側の f 8 の示す距離目盛の間 すなわち約 2.5 m から 3.7 m の間は焦点が合うことがわかります

# 焦点深度表

絞り値 距離(m)	絞り値							絞り値 距離(m)	絞り値						
	3.5	4	5.6	8	11	16	22		3.5	4	5.6	8	11	16	22
∞	33.5	30.1	21.3	15.1	10.7	7.6	5.4	2	1.90	1.89	1.85	1.79	1.72	1.62	1.51
	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞		2.11	2.13	2.18	2.27	2.40	2.62	3.02
10	7.7	7.6	6.9	6.1	5.2	4.4	3.6	1.7	1.63	1.62	1.59	1.55	1.50	1.42	1.34
	14.1	14.8	18.6	28.9	∞	∞	∞		1.78	1.79	1.83	1.88	1.97	2.12	2.36
5	4.38	4.32	4.09	3.80	3.46	3.1	2.7	1.5	1.45	1.44	1.42	1.38	1.34	1.29	1.21
	5.83	5.95	6.45	7.34	9.13	13.9	∞		1.56	1.57	1.60	1.64	1.70	1.81	1.98
4	3.60	3.56	3.40	3.20	2.96	2.67	2.4	1.3	1.26	1.26	1.24	1.21	1.18	1.14	1.09
	4.50	4.58	4.87	5.35	6.22	8.11	14.3		1.34	1.35	1.37	1.40	1.45	1.52	1.63
3	2.77	2.75	2.66	2.54	2.38	2.20	1.98	1.2	1.17	1.16	1.15	1.13	1.10	1.06	1.02
	3.27	3.31	3.45	3.68	4.07	4.78	6.36		1.24	1.24	1.26	1.28	1.38	1.38	1.47
2.5	2.34	2.33	2.26	2.17	2.06	1.93	1.76	1.1	1.07	1.07	1.06	1.04	1.02	0.99	0.95
	2.68	2.70	2.80	2.95	3.18	3.60	4.41		1.13	1.13	1.15	1.17	1.20	1.24	1.32

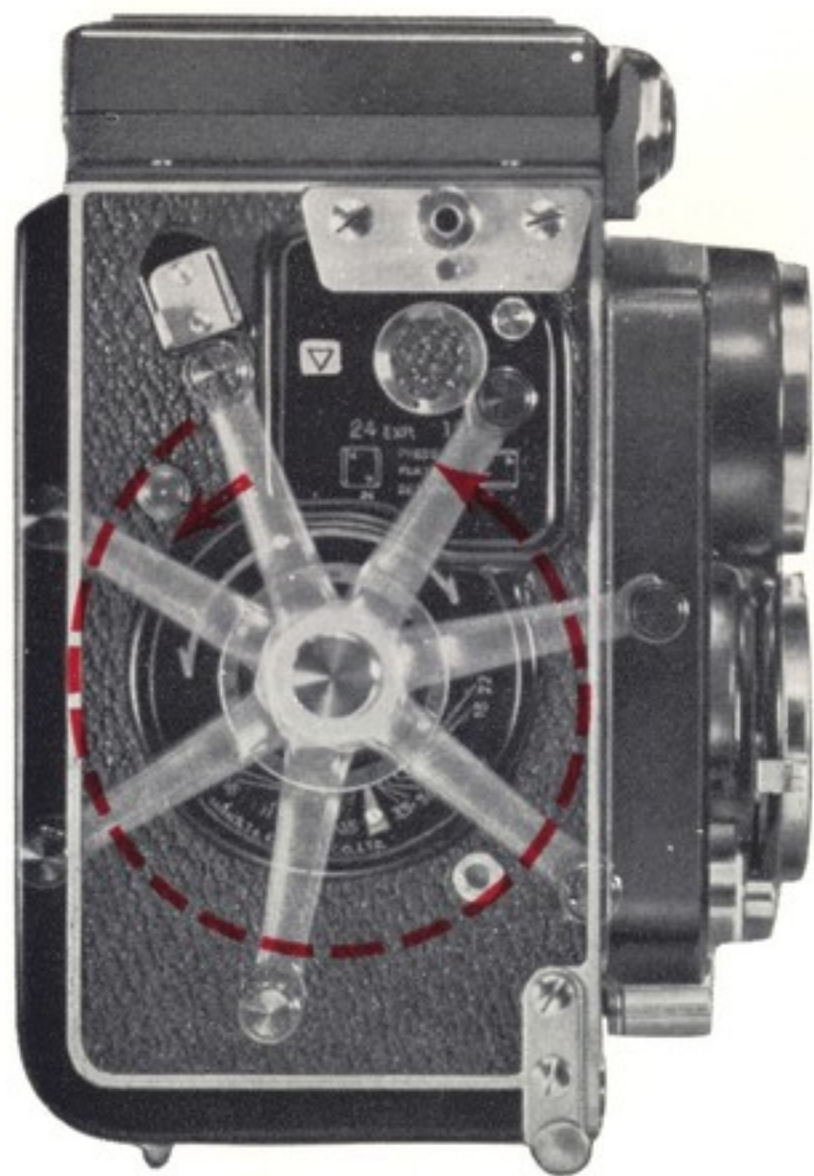


## 赤外撮影のとき



赤外写真を写される時は 赤外線波長の長い  
ため焦点の位置が少し後方にずれますので フェ  
インダーで合わせた位置より レンズを少し前に  
調節せねばなりません。そののびる割合は 距離  
目盛を表わした位置から 赤外線表示針をずらせ  
ば赤外写真撮影位置に調節できます

## 多重撮影について





一枚写したフィルムの上に 二重にも三重にも撮影したい場合があります。そのときはクラック逆転ボタンを指先で少し矢印の方に引きながら クラックを逆回転（時計の針の反対方向）して格納しますとフィルムはその位置のままでシャッターだけがセットされます。三重撮影の場合は再び同じ操作を繰り返します（この場合は露出に注意して下さい）

- 注意**
1. フィルム巻上げは クラックが止まる所まで一気に巻上げて下さい
  2. クラックを逆転して格納位置に納めてから シャッターを切るのが正しい使い方です
  3. フィルム巻上げ後カメラを長時間使用しない時は レンズキャップをかぶせてシャッターを切って下さい。次に撮影する時は多重撮影の要領でクラックを一回逆転すればフィルムが無駄になりません

## 二重撮影の防止

一度シャッターを切った後は 巻上げクラックを回してフィルムを巻上げた後 巻上げクラックを格納位置まで戻さない限りシャッターを切ることが出来ません。又シャッターボタンの安全装置がかかっているとシャッターは切れませんから安全装置を一度たしかめて下さい

## ミノルタレンズフード

アクセサリ

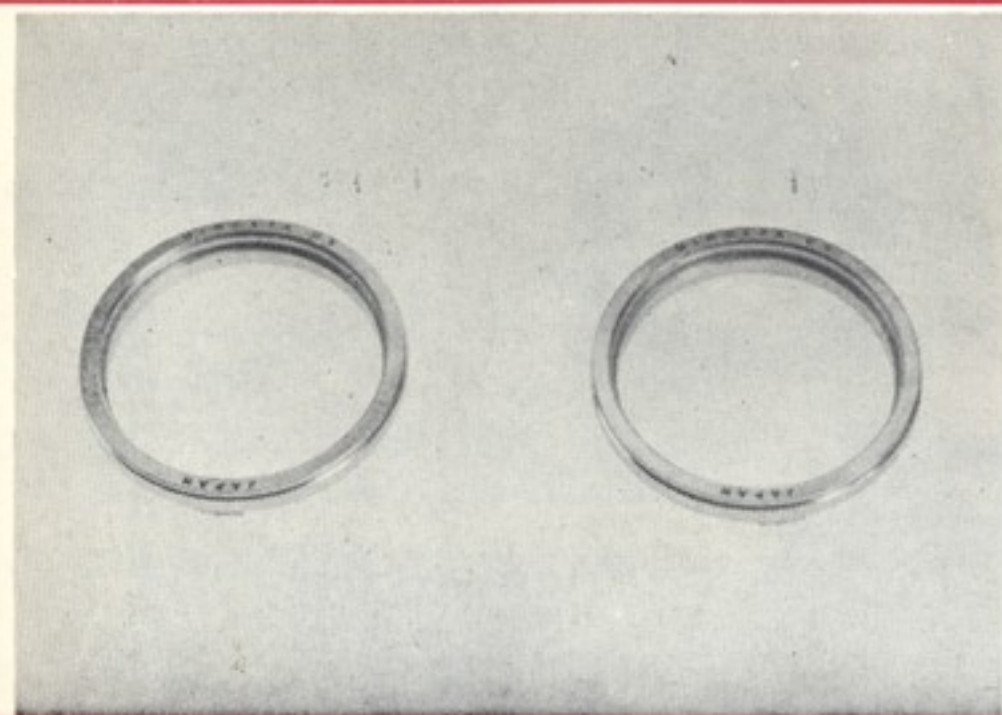


無用の有害光線がレンズに入るのを防ぎ、すっきりとした写真を作ります。特にシンクロ撮影には必ずレンズフードが必要です

¥ 700



## ミノルタフィルター



フィルターは 被写体の色合いを肉眼で見た感じと同じ濃淡に表現したり 或はいろいろな効果を出すために 四季を通じて欠くことのできないものです

ミノルタフィルターには用途に応じてUV, Y48があります

各 ¥ 500

## ミノルタデラックスガン



小型ながら極めて閃光能率がよく フラッシュバルブの点検装置とフラッシュ撮影時の露出計算盤があります。初心者でも失敗なくシンクロ撮影ができ更に発光器の反射笠の角度が変えられますのでいろいろな照明光が与えられます。又反射傘は折畳式ですからポケット用としても非常に便利です

¥ 1,400

## ミノルタクローズアップレンズ

カメラの最短撮影距離以内に接近した被写体の撮影には接写用の補助レンズを使用しなければなりません。その場合二眼レフでは、ビューレンズで見たピントガラスの像と、撮影像とは上下にズレができますから、この視差を矯正することが必要になります。

ミノルタクローズアップレンズは、上下レンズにつける接写レンズとビューレンズにつける視差矯正プリズムで一組となっており、No.1とNo.2の二種類があります。

クローズアップレンズをつけた場合も普通撮影と同じようにファインダーを覗いて焦点を合わせます。撮影範囲はNo.1が47cmから72cmまで、No.2は38cmから50cmまで、ピントガラスに見られる通りの被写体が接写されます。

No.1 No.2 各 ¥1,100





## ミノルタパラジャスター

パラジャスターは二眼レフの視差匡正を完全になくするためのもので近接撮影には特に威力を発揮します

### 使用効果

1. ファインダー視野と実画面が完全に一致します
2. 被写体の前後の重なりがファインダーで見たまま写せます
3. 光線の反射が予期しない所に出る心配がありません
4. プリズムで矯正した場合のようなアオリが生じません
5. プリズム矯正によるピントずれが起りません
6. 接写レンズを何枚も重ねて使用できます

¥ 1,600



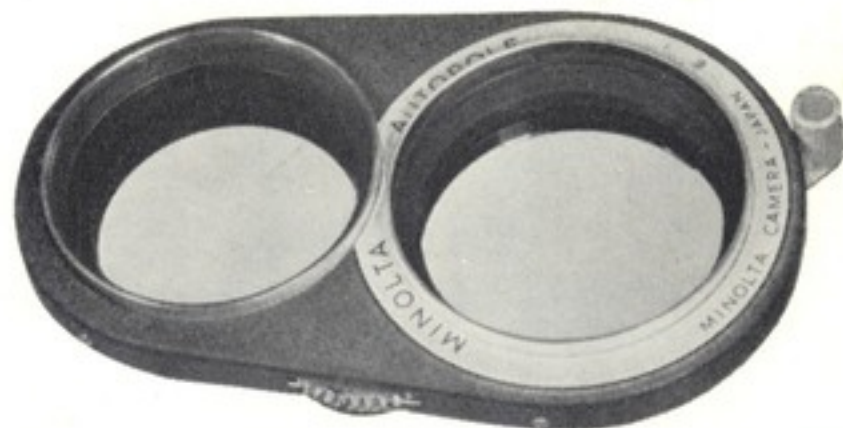
## ミノルタオートポール（偏光フィルター）

ガラス面の反射のためウインドーの中にある被写体が写らなかったり 又は絵のようなものを写したいとき 表面の反射のために細いところがはっきりと写せないことがあります。こんな時オートポールを使うとガラスやその他非金属面からの反射光を適当に消しますから目的物をはっきりと写すことができます。又青空の調子を暗くしたい時もオートポールを使用するとオートポールは色に対する影響が全くありませんからカラー撮影にも使用できます。撮影レンズとビューレンズの両方に偏光フィルターが取付けられこれが互に連動しますから カメラに取付けて撮影効果を調節しながら撮影できます

### 使用範囲

1. ガラス 水面その他非金属面の反射光を消すか又は最少限に抑えたいとき
2. 青空の明るさを適度に暗くしたいとき

¥ 4,500







オートポールを使わずに写したもの



オートポールを使って写したもの



ミノルタパノラマヘッド





ミノルタパノラマヘッドを使うと  
広々とした風景や広い範囲の被写体  
を一枚の写真に入れることができ  
ます

ミノルタパノラマヘッドは 一枚  
撮影することにより少しずつカメラの角  
度を変えてゆき12枚の撮影でちょう  
ど一回転して まわりの被写体を全  
部撮影できるようになっています  
ご希望の枚数だけ撮影し 後でその  
写真をつなぎ合わせるとすばらしい  
パノラマ写真ができます

特に長い地平線のみえる遠景撮影  
に効果があります



¥ 1,800



## 1 年品質保証

カメラの化粧箱の中に入っている愛用者カードに所要事項をご記入の上 10日以内に切手を貼らずにミノルタカメラ宛お送り下さい

そうすれば あなたのカメラは当社の台帳に記載され 折返し1年間保証書をお送り致します

修理のときや 今後のあなたとの通信連絡或は万一の盗難の時にも役立ちます 万一故障の場合は 直接各地サービスステーションへご相談 又はお送り下さい

## サービスステーション

札幌	☎ 060	札幌市北二条西4-1三井ビル TEL (0122) 28-6666 (代)
仙台	☎ 980	仙台市勾当台通8熱海ビル TEL (0222) 23-8783・8784
新潟	☎ 950	新潟市東大通1-23マルタケビル TEL (0252) 44-7188 (代)
東京	☎ 104	東京都中央区銀座6丁目17番2号 木挽館新館 TEL (03) 542-1261 (代)
東京	☎ 160	東京都新宿区角筈1-1 新宿ステーションビル4階 TEL (03) 352-6552・6553
横浜	☎ 220	横浜市西区北幸1丁目1番13号 横浜駅前ビル7階 TEL (045) 311-9512・9513
静岡	☎ 420	静岡市両替町1丁目7-5 北条ビル3階 TEL (0542) 52-9185・9186
名古屋	☎ 460	名古屋市中区錦1丁目20番19号 名神ビル TEL (052) 221-8761 (代)
大阪	☎ 542	大阪市南区塩町通4-18 トヨタビル TEL (06) 271-8671 (代)
高松	☎ 760	高松市丸亀町14-1浜田ビル TEL (0878) 51-6239
広島	☎ 730	広島市東千田町1丁目3-13 TEL (0822) 41-1404・45-1953
福岡	☎ 812	福岡市神屋町1番25号 TEL (092) 29-7823・7824





さて……これで  
おわかりになったでしょう  
あとは  
あなたの腕に  
おまかせします

# Minolta

ミノルタカメラ株式会社

☎542 大阪市南区塩町通4-18 (06) 271-8671

☎105 東京都港区芝浜松町3-5 (03) 435-5511  
(世界貿易センタービル)